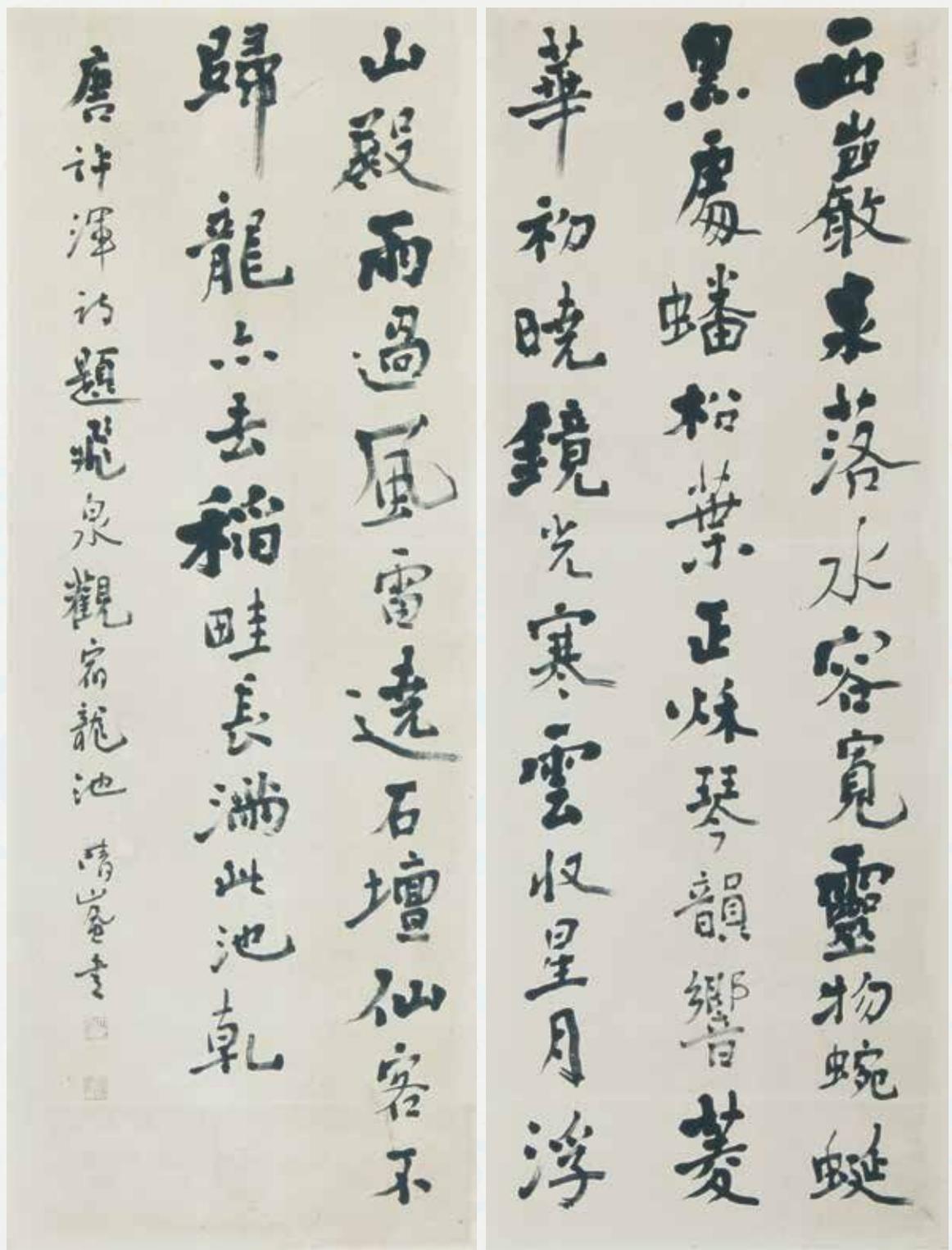


# その地を想って 筆をとる

枯れてしまった池のかつての美しさを想う。  
唐の詩人・許渾が旅先にて詠んだ詩。



大池晴嵐

令和8年

2.19 [木] - 4.19 [日]

休館日=月曜日(祝休日の場合は翌平日)

開館時間=午前9時-午後4時半

観覧料=一般100円、高校・大学生50円、中学生以下無料

展示品解説

2.23 [月・祝]・3.14 [土]

各日 午前10時半-11時、午後2時-2時半

学芸員が初心者向けに展示品の解説をします。

事前予約は不要です。お気軽にお越しください。

 春日井市道風記念館  
〒486-0932 愛知県春日井市松河戸町5丁目9番地3  
tel.0568-82-6110  
<https://www.city.kasugai.jp/shisetsu/bunka/tofu/index.html>



野村高 佐 黒津横種榎梅座大坪桜西七金植村武津大藤田阪永森頼 梁管頼  
崎上木 野金地村倉 馬平井井井丈子村上馬金池岡山 坂 川沼  
幽堯大 清孝春山香舒井山正琴林南鷗和榴岳雀晴保花正石春聿星斐山  
谷紅宇 仙 宇邦佳童邨通邨濤庵風亭豊亭堂堂陽仙嵐子袋臣埭濤庵巖雄陽

【展示品の作者】

富貴を求むればやまのりてさかすまのりて  
 うらやまのりてさかすまのりて  
 あまのりて

いつでも帰ってこられるふるさとへのありがたみを詠む。

竹 水  
 竹の水は清く流るる  
 竹の水は清く流るる  
 竹の水は清く流るる

旅先のにぎやかな繁華街で、いまは亡き国を想う。唐の詩人・杜牧の詩。

花があふれる西の都の寺めぐり。  
 一日くらの雨でさえも風情と思えてしまう旅心をうたう。

花があふれる西の都の寺めぐり。  
 一日くらの雨でさえも風情と思えてしまう旅心をうたう。

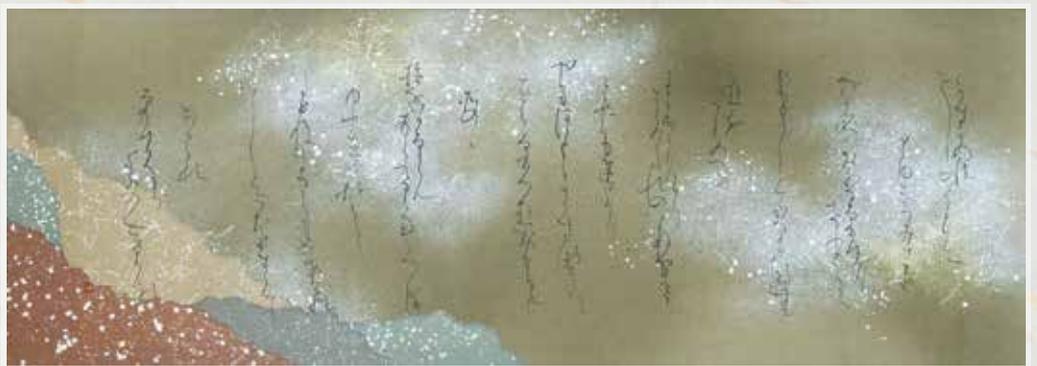
金子鷗亭

杉の緑とふもとの山ざくらの美しさを詠んだ、  
 若山牧水の和歌。

阪 正臣

梅 舒適

田山花袋



横地春佳

諸国行脚の歌人・西行が  
 旅先で詠んだ和歌。

酒前灘物葉魚柳花時節  
 向那居以看斜 蛭蒲帆影  
 何日小部 琴我書

頼 聿庵

旨いししゃもと酒に酔い、旅先の景色を眺める。  
 ここに住みたくなるほどの安らぎのひととき。

# その地を想って 筆をとる

実際に目にした景色に感動したり、住み慣れた土地を離れて寂しさを感じたり、故郷の地や人を想ったり、宿でのひとときを思い返したり、あるいは、まだ見ぬ土地に想いを馳せたり。旅をするということ、その地やそこにいる人を想うということとは、時代を越えて共感を誘います。文字は、時と場所を越えて想いを届けることができます。文字によって紡がれた言葉は書作品となることで視覚的な表現を伴い、言葉をより強く印象付けます。書を見ることは、時代を越えた心の旅ともいえるかもしれません。

この展覧会では、館蔵品の中でもその地を想って書かれた書作品を紹介しています。本展とおして、書作品をみることで旅をすること、その地にいるということに想いを巡らせ、さまざまなかたちの旅の扉を開くきっかけとなれば幸いです。



**春日井市道風記念館**  
 〒四八六一〇九三二愛知県春日井市松河戸町五九一三  
 電話 〇五六八一八二六一〇  
<https://www.city.sasuga.jp/shisetsu/bunka/rofu/index.html>